

施設改修工事の概要

1 外構工事

- (1) 車庫棟の解体・撤去（施工上の支障になるものとして）

2 外装の大規模修繕費工事

(1) 外壁

- ①外壁の各所にタイルや躯体のクラック・欠損部の修繕

(2) 屋上・屋根修繕

- ①屋上防水シートの劣化による改修
- ②内樋及び笠木の劣化による改修

3 建物内の改修

- (1) 告別室をエントランスホールに改修
- (2) 炉前ホールを2分割し、告別室と一体化し個別化を図る
- (3) 和室待合室（2室）を洋室待合室に改修
- (4) 待合ホール内に待合室1室を増設
- (5) 男女トイレの洋式化とスペースの拡大
- (6) 授乳室の新設
- (7) 内壁、炉室扉等の建具の修繕
- (8) 什器、備品類の更新
- (9) 必要に応じて通路等の平面構成の改修

4 建築設備の更新

- (1) 空調設備の更新
- (2) 照明設備の更新
- (3) 給排水設備（排水管）の取り替え
- (4) 入口自動ドアの更新

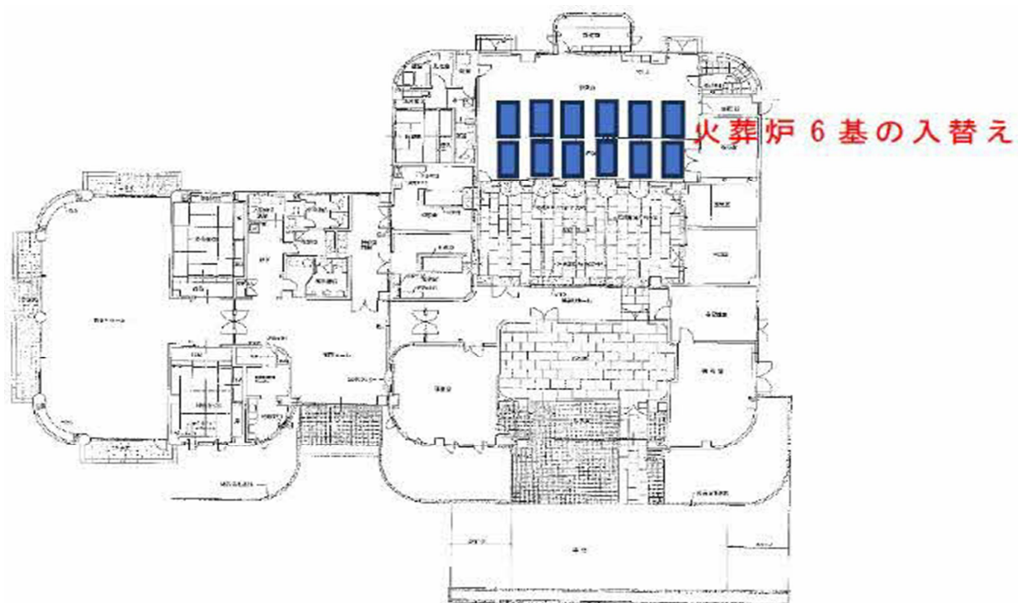
5 火葬炉設備の更新

- (1) 火葬炉6基の入れ替え、仮設炉2基の設置（必要に応じて）

6 そのほか、改修後、概ね20年～25年使用可能な状態とするために必要な修繕

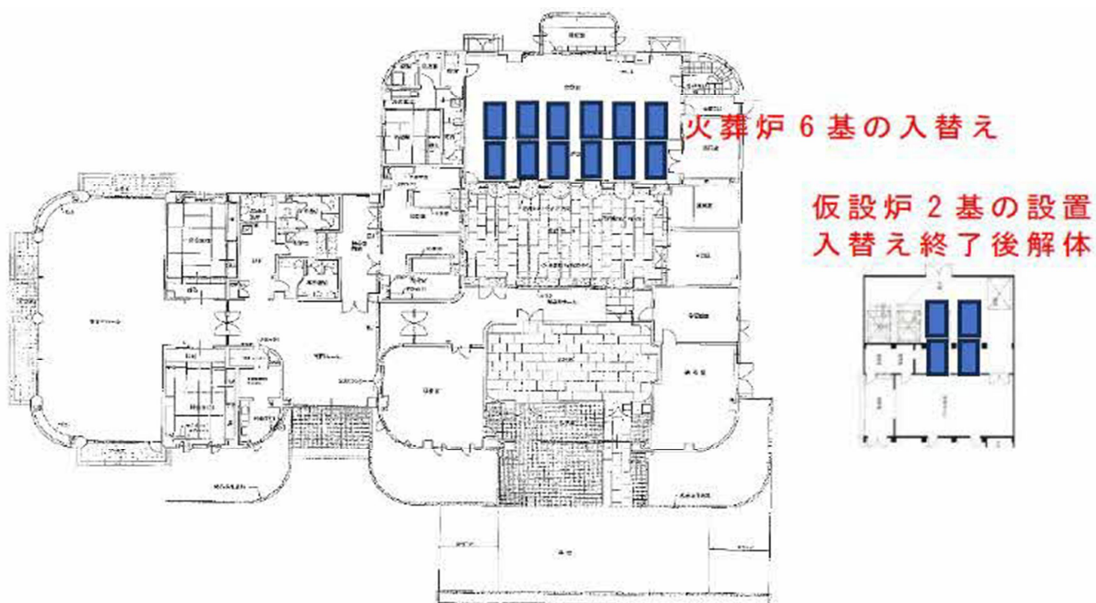
【想定する改修ケース】

ケース1



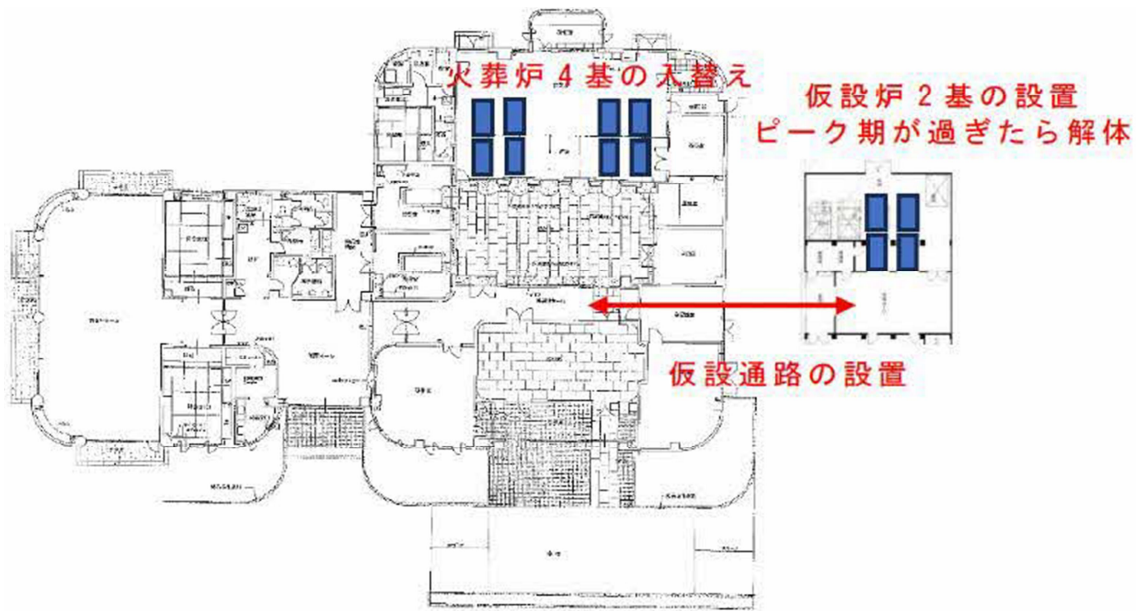
- ・現在の建屋(火葬炉6基)のまま6基を入替え
- ・機械室が狭く、入替が困難、稼働後のメンテナンスが困難
- ・入替工事により火葬能力が低下する

ケース2



- ・現在の建屋(火葬炉6基)のまま6基を入替え
- ・機械室が狭く、入替が困難、稼働後のメンテナンスが困難
- ・工事過程で仮設炉を設置するため、工事中の火葬能力の低下はない

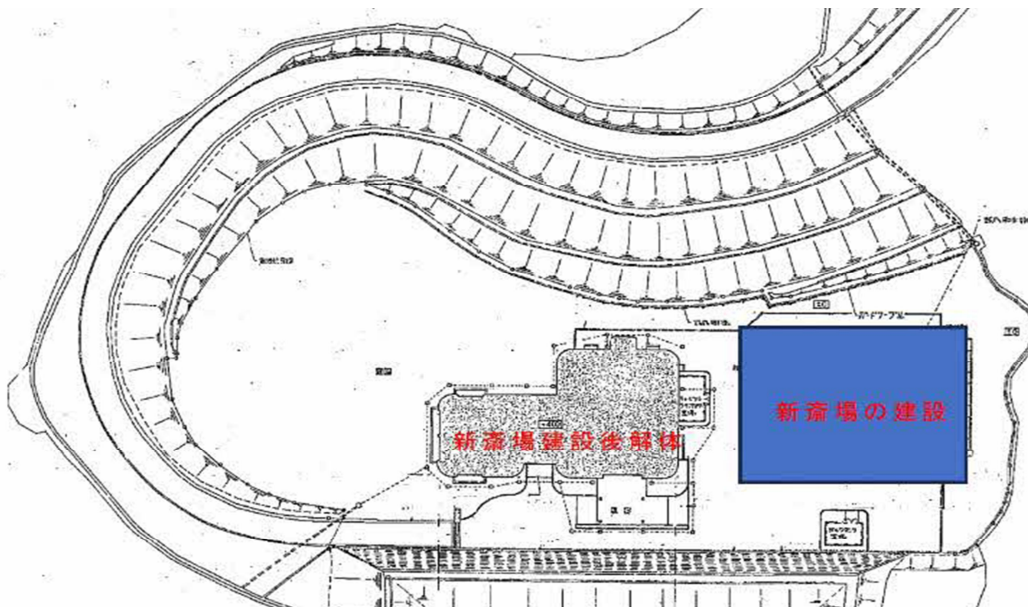
ケース3



- ・現在の建屋(火葬炉6基)に4基を設置し、火葬のピーク期を過ぎるまで別棟に2基設置
- ・工事中の火葬能力の低下はない

※ 上記のケース以外に最善と考えられる整備方法があればご提案ください。

【建て替え】



- ・敷地内(駐車場部分)に新しく建設する
- ・庭園側を仮設駐車場として使用する